

平成24年度当初予算（教育委員会関係）重点事項

● 教育委員会の基本方針

京都の未来を創造する人づくりに向け、昨年策定した「京都府教育振興プラン」を本格的に展開し着実に進めていくため、積極的な予算編成を行った

● 新たな取組

一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす

新規 京都フレックス学園構想の推進 (120,000千円)

資料13

生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばし、多様な学習ニーズに柔軟に対応する、新しいタイプの普通科高等学校を新設する

- ◆ 単位制、昼間2部制（午前部・午後部）の導入
～ 担任制、クラス制など全日制の良さを生かした丁寧な指導 ～
 - ◆ 修業年数（3年・4年）を入学後に自由に選択
 - ◆ 柔軟な授業時間（45分授業）
 - ◆ 実習・体験型科目などの多彩な講座、外部機関での履修も幅広く単位認定
 - ◆ 企業や専門機関と連携し、学習・就労・自立をトータルサポート
- ➡ 京都市地域に平成27年4月の開校を目指し、設計に着手

社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ

新規 府立高校生グローバルチャレンジ500事業費

(243,482千円)

資料21

国際社会で活躍する「グローバル人材」の育成に向け、コミュニケーション能力の向上と異文化の理解・尊重など国際感覚を育成する

- ◆ 府立高校生の海外語学研修や短期・長期の留学の助成制度の創設
➡ 年間100人を募集（今後5年間で500人の高校生を海外留学に）
- ◆ 京都グローバルコミュニケーション校の指定
- ◆ 英語教員の指導力向上、英語指導助手(AET)の増員 等

質の高い学力をはぐくむ

◇ 子どものための京都式少人数教育推進費 (8, 271, 236千円)

資料 1

- ◆ 小学校3～6年生及び中学校において、学校現場の状況に応じた少人数教育の実施が可能なように、府独自で教員配置を充実
- ◆ 小学校1・2年生では、35人以下学級編制が可能な教員を配置するとともに、30人を超える学級では複数教員による指導を実施

拡充 ⑳～ 小2で35人以下学級編制を制度化 (小1は㉓に実施済)

◇ 京都式専科教育推進事業費 (24, 240千円)

資料 2

府内小学校5、6年生の芸術系教科(音楽、図工)の授業に、中学校等の教員を派遣し、専科指導を推進する

拡充 前年度の試行を経て、24年度から拡大実施

たくましく健やかな身体をはぐくむ

新規 日本代表・トップアスリート交流事業費 (6, 000千円)

資料 12

一緒に練習する、直接指導を受けるなど、一流スポーツ選手とふれあう機会を提供し、子どもたちに夢と感動を与える

- ◆ 各競技の日本代表チームや海外チームの合宿等を京都に招聘

学校の教育力の向上を図る

新規 少年非行問題総合対策事業費 (18, 347千円)

資料 22

多発する少年非行の早期解決に向けて、学校における暴力行為などの問題行動に的確に対応する

- ◆ 小学校へ「まなび・生活アドバイザー」を拡充配置
将来の非行行為や中学校での暴力行為などを未然に防止するため、小学校にアドバイザーを配置、家庭支援など早期の対応を図る
- ◆ 中学校への生徒指導緊急指導教員の配置(非常勤教員の緊急配置)
- ◆ 児童生徒の豊かな人間性を育む教材等の作成

新規 学校改革リーダー養成事業費

(3,000千円)

資料25

高校改革に関する調査・研究を通じ、学校の課題解決を進めるとともに、今後の高校教育改革の中心的役割を担う教員を養成する。

- ◆ 中堅・若手教員を中心に、個人又はグループが自由に研究テーマを設定
(国内外の大学や企業など、研究の連携先や調査先も自由に設定)

安心・安全で充実した教育の環境を整備する

◇ 府立学校施設整備費

(4,927,216千円)

資料28

- ◆ 府立学校校舎等の耐震強化対策の推進

拡充 従来、同時に実施していたリニューアル工事の内容を見直し、耐震補強に特化することにより、耐震対策を加速 ⑳ 11棟 ➡ ㉑ 34棟(着手棟数)

- ◆ 海洋高校実習船「みずなぎ」代船の建造
- ◆ 府民公募に基づく校舎等改修工事の実施 等

新規 実践的防災教育推進事業費 (5,425千円)

資料27

東日本大震災の教訓を踏まえた新たな防災教育・防災訓練手法を開発、普及する

- ◆ 学校への緊急地震速報受信システムの整備
- ◆ 緊急地震速報などの防災科学技術を活用したモデル的な防災教育の実施

被災地児童生徒に対する支援

新規 被災地児童生徒心の復興等支援事業費 (8,200千円)

(23補正) 被災児童生徒就学等支援事業費 (10,041千円)

資料33・34

東日本大震災により被災した児童生徒への支援

- ◆ 子ども達を京都に招き、文化体験や府立学校の施設を活用した学習を支援
- ◆ 京都へ避難してきている子どもに対する就学援助、奨学金貸与 等